



森の楽校だより

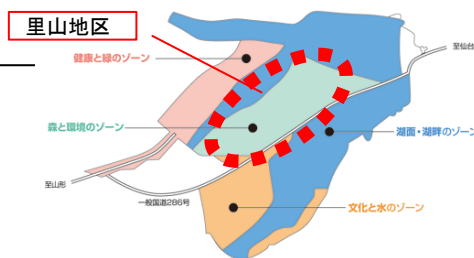


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

今年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。



10月1日（土）晴れ 「森の楽校」活動スタート！

株木立のコナラ、これがホストツリーです！

森の中にひっそりと佇む株木立のコナラです。これを今回の活動で、ツリーハウスをつくるホストツリーとします。

ここは園路からは少し離れていて、斜面に囲まれた隠れ処のような雰囲気がある場所です。平坦地で活動しやすい地形になっています。

近くには密生したスギ林があって、そのスギを伐採してツリーハウスの材料にします。



記念写真

今日は活動の初日です。会員は初めてこのコナラの木に対面しました。

木から離れて全体を見る人、近寄って木肌をなでる人、写真を撮る人、話しかける人、おのおのが、いろいろな仕方でこの木に挨拶しました。

そして全員が集まって記念写真を撮りました。新しい「森の仲間づくり」の始まりです！



10:00～ ガイダンス

公園休憩所「あだこだ」にて、受付のあと、ガイダンスを行いました。

「活動のしおり」をもとに、里山地区の目標、ゾーン分け、活用ゾーンの考え方と、今回の活動だけでなく、里山地区全体について、説明しました。

「楽しく！安全に！」をモットーに活動開始です。



活動場所は、「あだこだ」から国道 286 号線を横断して行きます。



10:30～ 現場へ移動

里山地区に入りました。最初は歩きやすい道ですが、途中からは昔ながらの「里道」です。ルートがわからなくならないように、「道しるべ」を立てながら、移動しました。

まず、ここに 1 本。森の中に、槌音が響きました。

大きなカマで、下草刈りをしながら歩く会員もいました。

これが、「森の楽校」の「道しるべ」です。



ここが現場です。あらかじめピンクのテープを付けておいたスギの木を切って、ツリーハウスを造ります。



11:00～ フィールド案内、活動開始！



スタッフから手ノコを使った木の切り方を習って、さっそく実施しました。

切ったスギは、すぐに皮をむきます。もっと暑い時期だとスルスルむけるそうです。



14:00～ 仮組

今日、切ったスギで、仮組みをしてみました。まず丸太をファーストデッキの高さに上げて、皮をはいだ丸太を置いてみました。イメージがわいてきました！

